

どんな問題があつて、 制度があるのか。



教員 上河原献二先生

Q どんな環境問題の研究をしていますか？

私は環境法と環境政策を専門としています。県大で教える前は環境省で勤務するなど、国際・国内など様々な立場から環境問題に携わってきました。環境省では主に、条約交渉・野生生物保護・国立公園・大気汚染・水質汚濁・環境影響評価・石綿被害救済・環境税・災害廃棄物などを担当しました。

今行っている研究は、

1. 多数の国々が参加する地球環境条約という制度が、長い年月の内にどのように変化するのか
2. 地域における外来生物管理の仕組み
3. 動物園による自然保護活動を支援する制度 です。

Q どんな環境問題の卒業研究を指導してきましたか？

- 大震災被災地における木質系災害廃棄物のバイオマス発電利用に関する研究 (2017)
- 農村地域における獣害対策は地域活性化へとつながるのかー滋賀県東近江市を事例としてー (2017)
- 侵略的外来種に市はどのように対応してきたのかー琵琶湖湖岸の事例報告ー (2017)
- 動物園の教育活動におけるボランティアに関する研究 (2016)
- 東日本大震災以降の大都市における帰宅困難者対策に関する研究 (2016)
- ゴミ分別についての条例による対処の研究 (2015)

Q 学科への入学を検討されている方へ一言

滋賀県立大学は、琵琶湖・山・農村が身近にあり、環境問題についてのびのびと学べる場所にあります。そして、学生が自由に研究できる環境も整っています。「21世紀は福祉と環境の時代」ともいわれるほどで、環境問題と環境政策は学びがいのある分野です。皆さんが自分自身で問題を見つけ、考えられるような働きかけをしていきたいと考えています。

Q 上河原先生に 質問コーナー！

Q1.趣味は何ですか？

A.山歩きです。

今まで多くの山を訪れました。死にかけた経験もありますが、朝日連峰が一番のお気に入りです。気になる人は、聞きに来てください！

Q2.研究室に飾っている女性の写真は？

A.娘です(笑)

バイオリニストなんです。